

分野：地球温暖化

気候変動と私たちの未来

環境アドバイザー

岩田 京子

対象 よしかわ憲法サロン他近隣市民(20人)

所要時間



2.5 時間

場所 吉川市→市民交流センターおあしす

実施時期

令和3年5月15日

概要

気候変動により私たちの穏やかな生活が脅かされています。この10年が分岐点と言われている気候変動について、現状と背景、これからの展望についての学習。

プログラムの
ねらい

気候変動について、取組みと歴史についてひも解き、「省エネ」「創エネ」という対策の柱は変わらないこと。また、その影響について2℃上昇と1.5℃上昇の違いについて知り、1.5℃に向けて私たちが全力で立ち向かわなくてはならないことを共有し、それに基づいて意見交換をする。

プログラムの内容

1 気候変動について (25分)

環境問題の中の気候変動

2 気候変動の取組みと歴史 (20分)

昔から変わらず省エネと創エネが対策の柱である事。
途上国と先進国と一体となって取り組むべき課題に。

3 気候変動の影響 (20分)

温暖化による食料、水、生態系への影響等

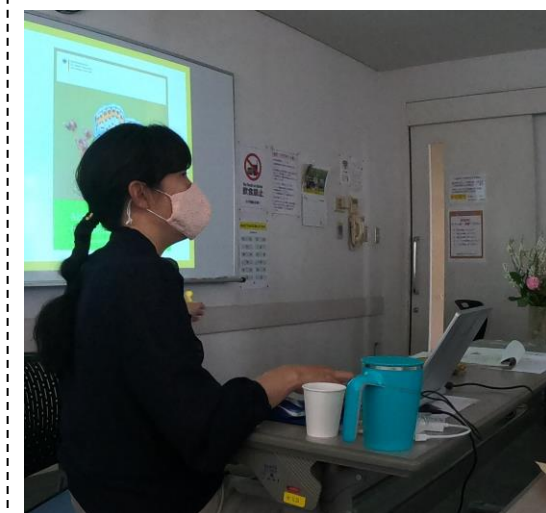
4 気候サミットでの目標値 (10分)

4月に引き上げられた各国の目標について

5 目標にむけて (15分)

国の取組みと私たちにできること

6 意見交換 (30分)



受講者の反応

●小学4年生で子どもが環境学習をしてきて様々なことを学んだのに、5、6年でやらないので、せっかくの学習がゼロになりもったいないというご意見が。ESDで全学年のカリキュラムの中で取り組まれている例なども紹介。●若い方から、効果的な方法をチョイスしたいとのお話もあり、うちエコ診断の経験としては、創エネ導入が一番効果があることを付け加えました。●学校の先生より、わかっていたようで分かっていなかった、勉強になったという感想。●大手ガソリン自動車メーカーは子会社を守る必要もあり本当に電気自動車に移行できるのか。グリーンリカバリーへ。